

# 福井コンピュータホールディングス株式会社

## 2015年3月期第1四半期 決算説明資料



# 連結業績の概要



(単位:百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	対前期 増減額	対前期 増減率	前期 (通期)
売上高	1,957	2,047	+90	+4.6%	8,768
営業費用	1,532	1,582	+50	+3.3%	6,747
営業利益	424	464	+40	+9.5%	2,020
営業外損益	13	11	△1	△15.0%	43
経常利益	437	475	+38	+8.8%	2,064
特別損益	—	—	—	—	△12
法人税等	176	176	△0	△0.1%	776
四半期純利益	260	299	+38	+14.7%	1,275

- 売上高は、測量ソフトが大幅な増収となり、建築ソフトの減収を補う
- 営業費用は、主に人件費が増加
- 復興特別法人税の廃止により税負担率が低下

# セグメント情報



(単位:百万円)

	建築CAD	測量土木CAD	調整額	合計
売上高	974	1,072	—	2,047
営業利益	105	328	31	464

(参考:前年同四半期)

(単位:百万円)

	建築CAD	測量土木CAD	調整額	合計
売上高	1,020	937	—	1,957
営業利益	168	213	43	424

- 平成26年4月1日にITソリューション事業の各事業を建築CAD事業の各会社に事業譲渡したため、報告セグメントを従来の3区分から2区分に変更
- 建築CAD事業は減収減益
- 測量土木CAD事業は増収増益

# 建築CAD事業

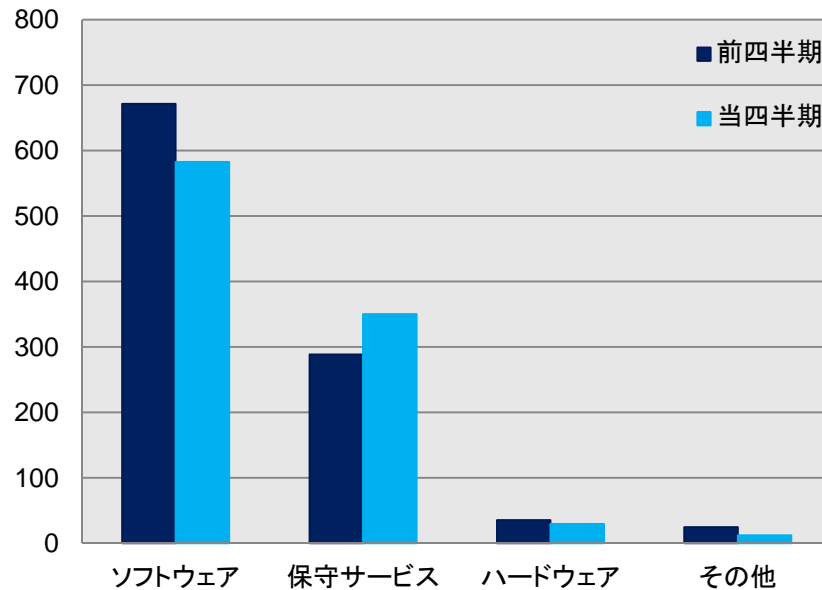


(単位:百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	増減額	増減率
売上高	1,020	974	△45	△4.5%
営業利益	168	105	△63	△37.6%

(単位:百万円)

## 売上高内訳



➤消費増税の影響で新設住宅着工戸数が前年比でマイナスとなり、市場が冷え込んだ影響により、ソフトウェアの売上が減少

➤当期中に発売予定の「ARCHITREND Z」の次期商品に対するユーザーの期待感から保守サービスの加入件数が増加し、保守サービス売上が増加

# 測量土木CAD事業

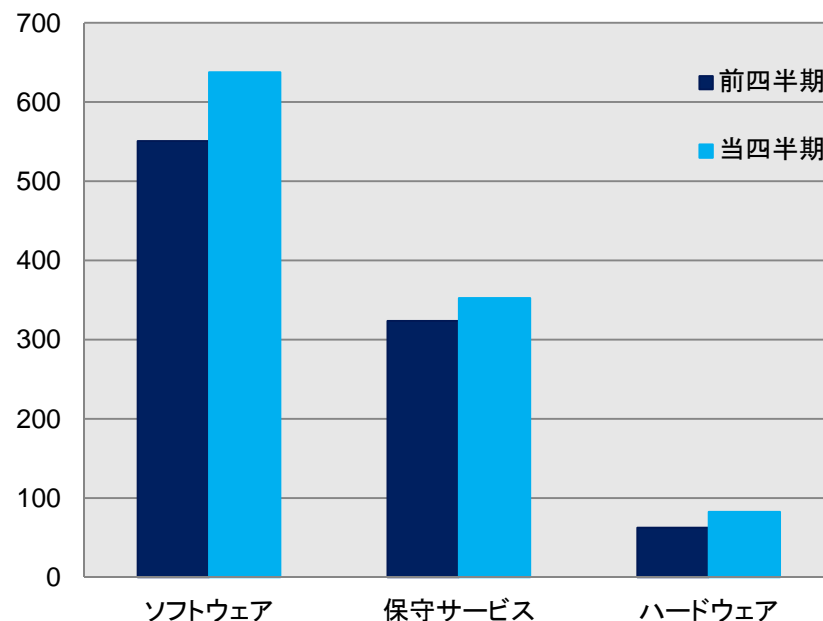


(単位:百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	増減額	増減率
売上高	937	1,072	+135	+14.5%
営業利益	213	328	+115	+54.1%

(単位:百万円)

## 売上高内訳



- 国土強靱化計画により公共投資が堅調に推移したこと及び地籍調査業務が新たに発注された地区で専用システムの導入が進んだことにより、測量ソフトウェアの売上が大幅に増加
- 保守サービスは、測量土木ともに加入件数が増加し、保守サービス売上が増加

## 貸借対照表の概要



(単位:百万円)

	前第1四半期末	当第1四半期末	増減額
流動資産	5,051	6,665	+1,613
有形固定資産	2,811	2,781	△29
無形固定資産	148	45	△102
投資その他の資産	1,422	1,895	+473
<b>資産合計</b>	<b>9,433</b>	<b>11,387</b>	<b>+1,954</b>
流動負債	2,385	2,863	+477
固定負債	69	238	+168
資本金、資本剰余金	3,727	3,727	—
利益剰余金	3,048	4,075	+1,026
有価証券評価差額金その他	202	483	+281
<b>負債純資産合計</b>	<b>9,433</b>	<b>11,387</b>	<b>+1,954</b>
自己資本比率	73.7%	72.8%	

- 流動資産の増加は、主に現金預金の増加が要因
- 投資その他の資産の増加は、主に投資有価証券の時価の上昇が要因
- 流動負債の増加は、主に保守サービスの加入件数増加による前受金の増加が要因

## 2015年3月期通期業績予想



(単位:百万円)

	前期(実績)	当期(予想) 株式分割前	当期(予想) 株式分割後	対前期 増減率
売上高	8,768	8,300	8,300	△5.3%
営業利益	2,020	1,770	1,770	△12.4%
経常利益	2,064	1,800	1,800	△12.8%
当期純利益	1,275	1,150	1,150	△9.8%
1株当たり当期純利益	111円01銭	100円11銭	50円05銭	
1株当たり配当金	25円00銭	25円00銭	12円50銭	

- 平成26年9月30日を基準日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施予定